

2016年08月17日 [健康食品](#) [企業](#)

ファイトロックス、フコキサンチンの量産化へ向け新工場竣工

(株)ファイトロックス(本社：沖縄県うるま市、伊藤史紘代表)はこのほど、微細藻類培養によるフコキサンチン製造工場をうるま市内に竣工した。建設敷地面積は約1,500平方メートル。22トン規模の微細藻類培養プラントとフコキサンチン抽出精製プラントを完備している。

同プラントの稼働は9月の予定で、2017年1月までに高純度フコキサンチン(40%以上)を月産5キログラム(約5,000万円相当)生産する予定。健康食品・医薬品・美容品メーカーへの販売を目指している。

同社は2015年3月に発足。4月に沖縄ライフサイエンスセンターにラボを設立し、9月には沖縄県が指定するうるま市国際物流拠点産業集積地域の経済特区内にある賃貸工場に入居。研究開発を経て、10~20リットル規模の培養設備を用いてフコキサンチンのパイロットスケールでの生産を行ってきた。

竣工式に出席した沖縄県商工労働部企業立地推進課長の金城清光氏は、「世界的な健康ブームのなか、御社のフコキサンチンがアジアを含む全世界に広まり、御社の成長・発展、ひいては本件の産業振興・発展につながるものと期待している」と祝辞を述べた。



祝辞を述べる金城清光課長

[※記事へのご意見はこちら](#)